

重点項目についての環境配慮概要						内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。								
“ストップ温暖化しずおか行動計画”の推進(Gloval Warming)								
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策)/④部品・部材の耐用年数 ①評価対象外 ②評価対象外 ③評価対象外 ④外壁仕上げ材:アクリルゴム系塗膜防水材→耐用年数20年 ④主要内装仕上げ材:床:浸透型表面強化剤→耐用年数30年、壁・天井は内装仕上げ無し ④配管・配線材:給水配管:ライニング鋼管→耐用年数:30年、排水配管→VP:耐用年数30年 ④主要設備機器:空冷ヒートポンプパッケージエアコン→耐用年数15年	Q-1	2	2.1	2.1.3	①	外皮性能	
		Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備	
					3.2	3.2.2	③	昼光制御
		Q-2	2	2.2	2.2.1	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
					2.2.2	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
				2.2.3	④	配管・配線材の更新必要間隔		
				2.2.4	④	主要設備機器の更新必要間隔		
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤既存緑地の保存と継続的な維持管理 ⑥同上 及び 排気口の適正配置 ■エネルギー対策 (⑦建物の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦LED照明採用による建物の熱負荷抑制 ⑧自然エネルギー直接利用:なし ⑧自然エネルギー変換利用:なし ⑨LED照明器具の採用 ⑩エネルギー使用量の把握	Q-3	1			⑤	生物環境保全と創出	
			3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上	
		LR-1	1			⑦	建物の熱負荷抑制	
			2	2.1		⑧	自然エネルギー直接利用	
					2.2	⑧	自然エネルギー変換利用	
			3			⑨	設備システムの高効率化	
			4	4.1		⑩	モニタリング	
				4.2		⑩	運用管理体制	
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫低環境負荷材) ⑪節水コマ・節水型機器の採用 ⑪雨水利用システム:なし ⑪雑排水利用システム:なし ⑫躯体材料の再利用効率:なし ⑫非構造材料の再利用効率:なし ⑫持続可能な森林から産出された木材の利用:なし ⑫有害物質を含まない材料:確認できていない ⑫既存建築躯体などの再利用:敷地内に既存建築躯体なし ⑫部材の再利用可能性:内装材がないため再利用可能 ⑫消火剤:ハロン消火剤を使用していない ⑫断熱材:発泡断熱材を使用していない ⑫冷媒:新冷媒R410Aの採用	LR-2	1	1.1		⑪	節水	
				1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム	
					1.2.2	⑪	雑排水利用システム	
			2	2.1	2.1.1	⑫	躯体材料の再利用効率	
					2.1.2	⑫	非構造材料の再利用効率	
					2.2	⑫	持続可能な森林から産出された木材	
					2.3	⑫	有害物質を含まない材料	
					2.4	⑫	既存建築躯体などの再利用	
					2.5	⑫	部材の再利用可能性	
				2.6	2.6.1	⑫	消火剤	
					2.6.2	⑫	断熱材	
					2.6.3	⑫	冷媒	
	■敷地外環境対策 (⑬温熱環境悪化の改善) ⑬緑地の確保:緑被率26.62%	LR-3	5			⑬	温熱環境悪化の改善	
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)								
	■サービス性能対策 (⑭耐震・免震/⑮信頼性) ⑭耐震性:建築基準法に定められた20%増の耐震性能 ⑭免震・制振性能:なし ⑮空調・換気設備:中央式空調換気設備を持たない ⑮給排水・衛生設備:節水型器具の採用 ⑮電気設備:浸水の危険性がない位置に設置 ⑮機械・配管支持方法:耐震クラスB ⑮通信・情報設備:浸水の危険性がない	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑭	耐震性	
					2.1.2	⑭	免震・制振性能	
					2.4	2.4.1	⑮	空調・換気設備
						2.4.2	⑮	給排水・衛生設備
						2.4.3	⑮	電気設備
					2.4.4	⑮	機械・配管支持方法	
					2.4.5	⑮	通信・情報設備	
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)								
	■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑱空間のゆとり) ⑯⑰ユニバーサルデザイン計画:対象外 ⑱階高のゆとり:平均階高:3.61m ⑱空間の形状・自由さ:壁長さ比率:0.137	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑯⑰	ユニバーサルデザイン計画	
			3	3.1	3.1.1	⑱	階高のゆとり	
						3.1.2	⑱	空間の形状・自由さ
	■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮) ⑲防犯性の配慮	Q-3	3	3.1		⑲	地域性への配慮、快適性の向上	
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)								
	■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉑まちなみ・景観への配慮/㉒敷地内温熱環境の向上) ⑳既存緑地の保存と継続的な維持管理 ㉑緑地による良好な景観形成 ㉒緑地の確保と排気口の適正配置	Q-3	1			⑳	生物環境保全と創出	
			2			㉑	まちなみ景観への配慮	
			3	3.2		㉒	敷地内温熱環境の向上	
	■敷地外環境対策 (⑬温熱環境悪化の改善) ⑬緑地の確保:緑被率26.62%	LR-3	5			⑬	温熱環境悪化の改善	